

平成29年度 都市整備部長「政策宣言」中間報告

都市整備部長 島崎靖夫

○ 平成29年度重要事業

事業名	安全・安心な道路整備
目標	市内地域間を連絡する道路や生活に密着した道路の整備を進め、交通ネットワークの強化を図ります。 また、引き続き道路施設の定期点検と併せて、橋梁の耐震化及び長寿命化対策や損傷の著しい幹線道路の補修工事を実施し、安全で安心して利用できる道路づくりを進めます。
進捗状況	市道高木新開発線や三ヶ34号線等の幹線道路及び生活密着道路の整備を計画的に進めています。 また、道路施設の点検を継続的に実施し、橋梁の耐震化・長寿命化工事や舗装補修工事を計画的に進めています。
今後の対応	引き続き、計画的な道路の整備及び維持管理に努めます。

事業名	生活環境の充実
目標	快適な生活空間の形成に加え、新たな交流やにぎわいを育む魅力ある地域づくりを進めます。 また、老朽化が進む公園施設については、予防保全に留意し計画的な更新や安全対策の強化を図ります。
進捗状況	越中大門駅周辺の都市計画道路駅前線の用地買収や小杉駅周辺の下条川千本桜ポケットパークの整備に着手するなど、快適な生活空間の形成や魅力ある地域づくりを進めています。 また、公園施設については、足洗瀉公園の照明灯更新工事に着手しました。
今後の対応	引き続き、計画的な事業推進に努めます。

事業名	住宅環境の充実
目標	若い世代の定着や転入、空き家の発生防止と流通促進を図るため、「三世代同居住宅支援」による住宅リフォーム補助を新設するとともに、既存の「若者世帯定住促進家賃補助」、「空き家対策支援」及び「指定宅地取得支援」の制度を拡充し、定住人口の増加及び良好な居住環境の形成を進めます。
進捗状況	9月末までの交付実績は、「三世代同居住宅支援」で7件、「若者世帯定住促進家賃補助」で12件、「空き家対策支援」で15件、「指定宅地取得支援」で84件となっています。
今後の対応	引き続き、住宅支援制度のより一層の周知に努め、若者世帯の定着及び転入の促進、空き家の発生防止に努めます。